

2011年度

科目名	基礎薬学演習C				
担当教員	小野 史郎、寺田 知行、楠本 豊、西中 徹				
配当	薬学6			コード	12090
開期	後期	講時	月曜日2限	単位数	1
授業テーマ	【必修】 基本的な生命現象の理解のもとに、病気のしくみや疾患治療薬に貢献できる知識を系統立てて学ぶ。				
目的と概要	生命現象を理解するために、正常個体におけるマクロおよびミクロの視点での生命体の成り立ち、恒常性調節機構、生体防御機構などを学び、これらの異常から発生する種々の疾患の発症のしくみや病態生理の理解、その治療に用いる代表的医薬品の作用機序に関する基本事項の理解に役立てる。各講義では、演習形式で与えられた課題を反復学習することにより、適切に疾患を把握し、効果的な薬物治療に貢献できる知識を身につける。				
成績評価法	試験と平常点によって評価する。				
テキスト	配布資料				
参考書					
履修に当たっての注意・助言/準備学習	補助教員:雪村 時人、山形雅代、田中 静吾、竹橋正則 予習・復習を必ず行うこと。				
講義計画					
回数	授業形態	授業内容	到達目標 (SBO)	コア対応番号	学習領域
1	演習と講義	生体の成り立ち 1、細胞の構造と機能 (担当:楠本)	細胞と組織、細胞膜や細胞小器官の機能、細胞の分裂、分化、死、細胞間情報伝達の仕組みなどと、それらが関与する疾患について説明できる		知識
2	演習と講義	生体の成り立ち 2、生体の調節機構 (担当:楠本)	体液の調節機構、循環・呼吸器系の調節機構など種々の調節機構とその破綻による疾患について説明できる		知識
3	演習と講義 (担当:楠本)	生体の成り立ち 3、遺伝の仕組み (担当:小野)	生殖と個体発生、器官形成、遺伝の仕組みなどと、それらが関与する疾患について説明できる		知識
4	演習と講義	生体の成り立ち 4、遺伝子発現の仕組み (担当:西中)	遺伝子発現の仕組みやその調整機構と、それらに関与する疾患について説明できる		知識
5	演習と講義	生体の成り立ち 5、消化と吸収 (担当:寺田)	食物の消化と吸収と、それに関わる疾患や薬剤について説明できる		知識
6	演習と講義	生体の成り立ち 6、エネルギー代謝と生体酸化還元 (担当:寺田)	エネルギー代謝と生体酸化還元の仕組みと、それに関わる疾患や薬剤について説明できる		知識
7	演習と講義	生体の成り立ち 7、免疫・生体防御の仕組み (担当:小野)	免疫・生体防御機構とそれに関わる疾患や薬剤について説明できる		知識
8	演習と講義	蛋白質の構造、機能、代謝と疾患 (担当:西中)	蛋白質、アミノ酸の合成と分解機構とアミノ酸代謝異常症、関連疾患や薬剤について説明できる		知識
9	演習と講義	糖質の構造、機能、代謝と疾患 (担当:寺田)	糖新生、解糖、グリコーゲン合成と代謝、クエン酸回路、ペントースリン酸回路などと、糖質代謝異常、関連疾患や薬剤について説明できる		知識

10	演習と講義	脂質の構造、機能、代謝と疾患 (担当:西中)	脂肪酸の生合成・貯蔵・動員・分解、リン脂質の役割、ケトン体の生成、ステロイド化合物の代謝などと脂質代謝異常、関連疾患や薬剤について説明できる		知識
11	演習と講義	酵素の構造、機能と疾患 (担当:楠本)	酵素、補酵素の構造や機能などと、酵素欠損症、関連疾患や薬剤について説明できる		知識
12	演習と講義	ビタミンの構造、機能、代謝と疾患 (担当:西中)	脂溶性ならびに水溶性ビタミンの種類・構造・機能などと、ビタミン欠乏症、関連疾患や薬剤について説明できる		知識
13	演習と講義	ホルモンおよび関連物質の構造、機能、代謝と疾患 (担当:寺田)	ホルモンやその他の伝達物質の種類・構造・機能などと、ホルモンの異常による疾患、薬剤について説明できる		知識
14	演習と講義	水と無機質の機能、代謝と疾患 (担当:小野)	水・無機質の代謝などと、それに関連する疾患、薬剤について説明できる		知識
15	演習と講義	総括 (担当:小野、寺田、楠本、西中)	1～14回目の講義のまとめ		知識